

先進的介護伴走支援事業
公募型プロポーザル 審査基準表

(別紙4)

No	審査項目	主な参考資料	審査内容
1	見積額	(様式5) 見積書	下記計算式に基づき、評価点を算出する。 評価点=配点×(全提案者中の最低見積額/当該提案者見積額) ※小数点以下を切り捨て ※委託料の上限額を超える場合は無効
2	実施体制	企画提案書	事業実施スケジュールについて評価する。 各種研修の実施スケジュール、フォローアップの実施時期等が定まっていることが望ましい。 また、感染症の発生等があった場合であっても、対応可能な体制やスケジュールが構築されているとなお望ましい。
3	遂行技術力	(様式6) 受託実績報告書	本業務に類似したコンサルティング業務、介護職員等を対象とした研修事業についての受託実績及びその成果等について評価する。 豊富な受託実績を有し、優れた成果を残していることが望ましい。
4	現状認識及び今後の展望	企画提案書	現状の理解度及び将来にわたっての分析力を評価する。 介護現場の生産性向上について、専門的な見地から深い理解・分析力を有していることが望ましい。 また、当市に所在する介護施設等に対する分析や、当市の取組に関する評価・提案等がされているとなお望ましい。
5	負担軽減策	企画提案書	事業の対象となる介護職員等(以下、対象職員という。)が、研修等に参加するにあたっての負担を軽減する方策がどの程度図られているかを評価する。 対象職員の業務都合を優先して研修日程を設定するなど、対象職員の負担を軽減する方策がとられていることが望ましい。
6	人材育成業務の内容(座学研修)	企画提案書	座学研修のプログラム内容及びプログラム構築の根拠について評価する。 プログラムの内容は、介護施設における生産性向上を実現するにあたり、体系的かつ効果的なものとなっていることが望ましい。
7	人材育成業務の内容(実務研修)	企画提案書	実務研修実施施設の環境及び実務研修のプログラム内容について評価する。 高度に生産性向上が実現されている施設において、実際の業務を体験したり、座学研修の内容をアウトプットできるようなプログラム内容となっていることが望ましい。
8	フォローアップ業務の内容	企画提案書	フォローアップの実施方法、連絡頻度等について評価する。 必要に応じて現地を訪問したり、対象職員に対して継続的かつ積極的に連絡を取ることが望ましい。
9	全体評価	全体	企画提案の内容、プレゼンテーション及びヒアリングの内容等を総合的に評価する。 なお、提案者からの独自提案等がある場合は、本審査項目で評価します。
満 点			100